



Tokyo Symposium & Workshop on Genomic Medicine, Therapeutics and Health

開催形式 ハイブリッド・参加費無料・要参加登録 : <http://tokyo-symposium.com>

主催 理化学研究所生命医科学研究センター、McGill University the Victor Phillip Dahdaleh Institute of Genomic Medicine、日本パストール財団、京都大学、UK Biobank

日本、北米、フランス、イギリスの学术界と産業界の演者が一堂に会し、ゲノミクス、RNA 生物学、免疫学、疫学、データサイエンス等の医学・生物学の進展の中心的な研究領域について、最先端の研究と応用事例を紹介し、シンポジウムでは、これらの研究領域がいかに急速に医療の戦略的リソースを拡大し、未来のヘルスケアを変革しようとしているかをお伝えします。

このシンポジウムと、引き続きワークショップは、世界をリードする健康医療研究データベースである UK Biobank (UKB) について深く学ぶためのまたとない機会です。UKB はゲノミクス・プロテオミクス・メタボロミクス・イメージングと、健康・環境/生活習慣情報を大規模に結びつけています。UKB は世界中の学术界と産業界の研究者が、生命医科学の革新を加速するためにアクセスし、活用することができます。

Symposium

日時 2024年4月8(月)-10日(水)

会場 一橋講堂(東京都千代田区一ツ 2-1-2 学術総合センタービル 2F)

4月8日 Large-scale data for precision health

UKB のリーダーが、ヘルスケアの向上に貢献する新規発見を達成するための UKB のインパクトについて説明します。また、UKB などにおける研究の基盤となる膨大なデータセット生成を可能とした技術的進展——分子データ・大規模イメージング・健康情報の統合——に注目し、さらにこれら膨大なデータを解析して解釈するアプローチについても深掘りします。そういった新規解析手法を支える計算機科学の進歩も紹介されます。このシンポジウム後のワークショップでは、UKB を含むデータベースへのアクセス方法の詳細な案内があります。

Speakers:

有田誠(理化学研究所)、Rory Collins (UK Biobank)、Stéphanie Debette (University of Bordeaux)、Marc-Emmanuel Dumas (Imperial College London)、Mark Effingham (UK Biobank)、Jemma Hopewell (University of Oxford)、鎌谷 洋一郎(東京大学)、岡田 随象(理化学研究所)、森本 典繁(日本 IBM)、Ioannis Ragoussis (McGill University)

4月9日 From precision health to diagnostics and new therapies

ゲノム編集、RNA を元にした医療、細胞療法と再生医療等の革新的技術が新規治療の開発にどのように影響しているかを解き明かします。特に、これらの研究による医療革命の一例としてがん研究領域の事例が示されます。学术界と産業界の連携による健康増進の加速は本シンポジウムの重要なテーマの一つです。

Speakers:

秋永 士朗(NANO MRNA)、Raquel Cuella Martin (McGill University)、濱崎洋子(京都大学)、Carolina Ilkow (University of Ottawa)、石垣 和慶(理化学研究所)、石川 文彦(理化学研究所)、Nada Jabado (McGill University)、David Juncker (McGill University)、湊 長博(京都大学)、中井 陽子(堀場製作所)、鈴木 蘭美(ARC Therapies 株式会社)、高崎 渉(第一三共)

4月10日 Society, immunology, infection and planetary health

ゲノミクスと免疫学の融合が、感染症と慢性疾患の理解・予防・治療の発展にどのように貢献できるかに焦点を当てます。マイクロバイオーム研究や、ワクチンで予防可能な疾患の撲滅に向けた世界規模の取り組みを具体的な事例を通じて説明します。また、研究に伴う社会的・政策的な課題も取り上げます。世界中のパストール研究所ネットワークの役割と、日本パストール財団の新たな取り組みも紹介します。

Speakers:

Tineke Cantaert (Institut Pasteur Cambodia)、Tony De Fougerolles (Evov Therapeutics)、Myrielle Dupont-Rouzeyrol (Institut Pasteur Nouvelle-Calédonie)、Samantha Gruenheid (McGill University)、Chih-hsing Ho (Academia Sinica)、岩崎 由香(理化学研究所)、Yann Joly (McGill University)、武藤 香織(理化学研究所)、Won Bok Lee (Ewha Institute for Biomedical Law and Ethics)、Mathieu Mancini (McGill University)、茂呂 和世(理化学研究所)、大野 博司(理化学研究所)、Anavaj Sakuntabhai (Institut Pasteur)、Etienne Simon-Loriere (Institut Pasteur)

Workshop on biobanks and data analysis

バイオバンクとデータ解析のワークショップ

日 時 2024年4月11(木) -13日(土)

会 場 京都アカデミアフォーラム (100-6510 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸ビル 10階)

UK Biobank などの多様なイニシアチブ、またバイオバンク・データセットを解析し解釈する計算科学的手法についてより深く知るため、学生や研究者に開かれたワークショップです。

UKB についてのより深い説明、並びに UKB 全コホートの全ゲノムシーケンス (WGS) データなどの UKB データへのアクセスと活用の具体的な方法に加えて、日本・カナダ・香港の精密医療研究プログラムの紹介や、バイオバンク・スケールのデータ生成の手法、さらには質問票データや行政データ、ポリジェニック・リスク・スコア (PRS)、およびファイン・マッピングの計算手法の実践的紹介を行います。

Speaker/ Lecture:

松田 文彦 (京都大学), Guillaume Bourque (McGill University), Mark Effingham (UK Biobank),
鎌谷 洋一郎 (東京大学), 小嶋 将平 (理化学研究所), Guillaume Lettre (University of Montréal),
松田 浩一 (東京大学), 二宮 俊治 (九州大学), Pak Sham (The University of Hong Kong),
鈴木 穰 (東京大学), 徳永 勝士 (国立国際医療研究センター), 山本 雅之 (東北大学),
Yue Li (McGill University)



VICTOR PHILLIP DAHDALEH
INSTITUTE OF GENOMIC MEDICINE
AT MCGILL UNIVERSITY



Fondation Pasteur Japon

